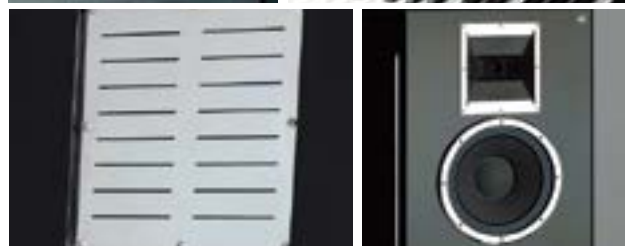
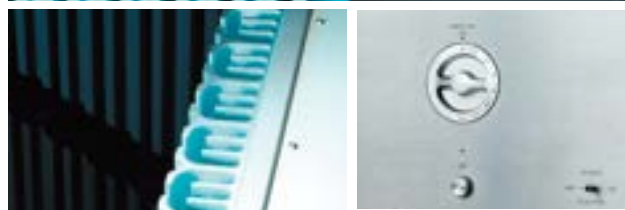


DANIEL HERTZ



M5 TELIKOS Mono Reference Power Amplifier

Designed and built
without compromise

Hyper Class A Operation

澄明な音質を実現するハイパー・クラス A 動作

“TELIKOS”とは「究極」「最終」を意味する古代ギリシャ語。その名の通り、M5 TELIKOSはマーク・レヴィンソンが1970年代から重ねてきたパワーアンプリファイアー設計における究極、最終形と言えます。

わずか1Wで100dBの音圧レベルが得られるダニエル・ヘルツのスピーカーシステム。M5 TELIKOSはその高効率なスピーカーをドライブするために最適化されたモノラル・パワーアンプリファイアーです。ミリワット単位ではもちろん、あらゆる電力レベルで至高のパフォーマンスを実現。もちろん、他のハイエンド・スピーカーをも音楽性豊かに駆動します。

オーディオファイルの中には、ミリワット領域での再現性に優れた真空管アンプと高効率スピーカーの組み合わせを好む向きもありますが、高効率スピーカーがふだんリスニングに使う電力は1W以下。それでも、ダイナミックな音源を表情豊かに再現できるヘッドルームを確保し、たとえば126dBの音圧をクリッピングなく再現するには200W以上の出力が必要になります。真空管アンプは一般にダンピング・ファクターが不足し、高効率スピーカーのワイドなダイナミックレンジをフルに活用するには出力電流や電圧も不足気味になります。

M5 TELIKOSは、強大なハンドメイドのトロイダル・トランスを核として、独自の高効率ハイパー・クラスA（バイアス可変型クラスA回路）を採用、ヘッドルームを大きくとっているため、大きなピーク信号も余裕を持って処理することができ、ミリ



ワット領域でもスムーズでオープンなサウンドとディティール感をもった再現性を発揮。8Ω、200Wの条件でも大電流を送り込むことができ、強大な出力によってワイドなダイナミックレンジを実現します。



その高速性、低域制御能力、あたたかくナチュラルなサウンドは、これまでのオーディオ機器に飽き足らないオーディオファイルにとって新たな経験となることでしょう。

動作温度が過度に高くないためファンの必要がなく、ベンチレーションが必要最低限で済むこともハイパー・クラスA回路のメリット。堅牢なヒートシンクが長時間のハイパワー駆動を可能にしており、温度オーバーロードの心配はありません。このため、必要に応じてスタッキングすることによりコンパクトな設置が可能になります。

Active Crossover Network

外部機器を介さないバイアンプ構成が可能

M5 TELIKOSは、プロフェッショナル・クラスのバイアンプ駆動を実現すべくアクティブ・クロスオーバー・ネットワーク回路を内蔵。フロントパネルのトグルスイッチにてローパス、フラット、ハイパスのモードが切り換えられるユニークな設計になっており、外部クロスオーバー機器を介することなくバイアンプ構成とすることができます。

また、フロントパネルのアッテネーター・ボリューム・コントロールは、サブウーファーのレベル、もしくは中・高域周波数のレベルを1dBステップ、0～-14dBレンジできめ細かく調整、ルーム・アコースティクスやリスナーの好みに合わせることができます。スイッチングはきわめて高精度で、レベル調整に伴う聴感上のノイズはありません。

ビス1本からパーツの1点1点に至るまでマーク・レヴィンソン自らが選定、スイスのクラフトマンシップによって妥協なく磨き上げられた丁寧な職人の手で組み上げられたM5 TELIKOS。パワーアンプリファイアーにおける新たな高峰です。



M6

1 Meg Ohms Preamplifier

Bringing a new level of transparency

1 Meg Ohms Technology

信号経路全体の歪みを低減するテクノロジー

オーディオの世界にこれまで経験したことのない新次元の透明感をお届けする、完全スイス・メイドのプリアンプファイアーです。

“1 Meg Ohms” は、マーク・レヴィンソンが「チェロ」時代に開発した手法。フォノステージや CD プレイヤーなどソース機器への負荷は通常 10kΩ ~ 50Ω 程度で、これでは深刻な音質劣化が避けられません。“1 Meg Ohms” テクノロジーでは、入力段においてソース機器への負荷を大きく低減させることによって信号経路全体にわたって歪みを大幅に抑え、音質を改善します。

高い入力インピーダンスによってソース機器に対する電流ドロワーは事実上ゼロに近くなり、リード線やハンダ部、プリント基板の経路、コネクタ部などを通じた電流漏れがなくなることから、きわめてオープンで、ディティール感と空気感に溢れた音の世界を実現することができます。

Full Discrete Design

入力信号をピュアに保つフル・ディスクリート設計

ステレオ信号経路は、±35V のパワーサプライにて動作するフル・ディスクリート回路で構成された、クリッピングを生じにくい設計になっており、チップは USB DAC と、2.1 ステレオ・システム用サブウーファーを駆動するサミング・アンプ内にあるだけ。もちろん回路部品も、性能はもちろん耐久性を重視して厳選されており、特に音質を左右する音量コントロールには、航空宇宙産業で広く使われる P&G（ペニー&ジャイルズ）社の製品を採用しました。

1970 年代から同社に絶大な信頼を置くマーク・レヴィンソンは、M6 用の



仕様を新規に開発。独自のテーパーにより数十 dB の細かい範囲から大きな値まで正確無比な調整が可能なコントローラーに仕上げており、ダニエル・ヘルツのスピーカーがそなえる高い分解能と広大なダイナミックレンジをフルに引き出します。ボリュームを上げても聴感上の歪みを生じることがない、その澄明な音質と色づきのなさ、

高精度なチャンネル・トラッキング、そして動作安定性は比類なく、まさに M6 の中枢と言っても過言ではありません。その操作感だけでも、このプリアンプファイアーの比類なき完成度を実感していただけることでしょう。

Direct USB input

デジタル・ファイル音源をみずみずしく再現

入力は、3 系統のアナログ入力に加えて USB にも対応。USB 入力はパソコンとデジタル・ファイル音源による妥協なき音楽ライブラリーの作成や高純度な CD / DVD 再生へのニーズの高まりに応える装備です。



M1

Reference Speaker System

Creating a new era in music reproduction

自然そのままのサウンド、きめ細かいディティール感、空間的な広がり、インパクト、深い低域、目が覚めるような高速な応答性、きわめて広いダイナミックレンジ。そうしたオーディオファイルの夢を叶えるリファレンス・スピーカーシステムです。



Driver units

カスタム仕様の高性能ドライバーユニット

M1 は、わずか 1W の電力で 100dB もの音圧レベルを実現するきわめて高性能なシステム。これほどの余裕があれば、ダイナミックレンジが圧縮されることなく空気感に溢れた再生が可能になり、ハーブシコードやリュートの繊細な音の表情からフルオーケストラのクレッシェンドに至るまで、驚くほどの忠実度をもって伸びやかに再現されることになります。M5 TELIKOS モノラル・パワーアンプリファイアー 4 台でのバイアンプ駆動によってそのポテンシャルが最大限に引き出される設計になっています。その高性能を担うドライバーユニットはいずれもダニエル・ヘルツ仕様のカスタムメイド。高域は奥行きわずかに 7.5cm のホーン型で、1.8kHz から 20kHz の帯域を 115dB/W/m の能率でドライブします。80Hz ~ 1.8kHz の中音域を 12 インチ、80Hz 以下は大口徑 18 インチのドライバーユニットが再現します。



Cabinetry

入念に磨き上げられた秀麗なキャビネット

キャビネット内部は 2 セクションに分かれ、高域と中域、低域にそれぞれ最適の空気ボリュームをそなえたチェンバーを設けています。またウーファのチェンバーには試聴を重ねて入念にチューニングされたポートを 2 個そなえ、ダニエル・ヘルツが理想とする低域の再現を可能にしています。クロスオーバーネットワークはスピーカー内の振動からアイソレートするように設置され、ベンチレーション・パネルを通じてアクセスすることも可能。将来の仕様変更やメンテナンスの必要性に備えています。

秀麗な光沢が印象的なキャビネットはブラック・ピアノ・フィニッシュ。各層を完全に乾燥させてから研磨し、コーティングを重ねてさらに研磨するという、高度な職人技をふまえた入念な工程のもと、実に 8 週間をかけて仕上げられています。ダニエル・ヘルツのスピーカー・キャビネットは、著名なピアノ・メーカー“ペトロフ社”の工場にて組み上げられています。ペトロフは、1864 年、かのモルダウ川が流れるチェコ・プラハに創業、チェコを代表する企業の一つとなっています。早くからその美しい響きに魅せられていたマーク・レヴィンソンは、ペトロフの卓越した音づくりの信念をスピーカーづくりにも活かしたいという思いのもと、2009 年からコラボレーションを開始しています。ペトロフの工場では、レヴィンソンの主催で小さなピアノの演奏会を開き、その音を録音してダニエル・ヘルツのシステムで即時再生するといったイベントも行われています。



Welcome to the world of Daniel Hertz SA of Switzerland.

天才の創造性とスイス・クラフトマンシップの融合

ダニエル・ヘルツ。そのブランド名は二人の人物の名前にちなんでいます。一人は19世紀ドイツの物理学者ハインリッヒ・ヘルツ。世界で初めて電磁波の存在を実証、その意



味でオーディオの父とも言える学者です。もう一人の人物はマーク・レヴィンソンの父親、ダニエル・J・レヴィンソン。母親はマリア・ヘルツ・レヴィンソンといい、ヘルツ家の血筋を引いています。このブランド名は、偉大な学者ヘルツと、レヴィンソンの活動を惜しみなく支援してくれた家系への感謝と敬意が込められているのです。そのブランド設立の理念を。レヴィンソンはこう語っています。

「1960年代、私はジャズプレイヤーとして、偉大なアーティストたちのレコーディングやパフォーマンスに魅せられ、その多くと共に演ずる幸運にも恵まれました。その経験から実感したのは、スピーカーの音が実際の演奏とは似て非なるものであり、そのエモーションを伝えきれていないということ。1972年、私が妥協なきオーディオ機器の設計と製造を開始した背景にはそうした思いがあります。それから長い時間が経ちましたが、世のオーディオシステムは今なお、現実の音楽が持つダイナミクスを再現するには至っておりません。ダニエル・ヘルツは、そうした問題に答えを見出すためのブランドと言えます」

音楽家として音を創造し、レコーディングエンジニアとして音を記録するという、いずれの分野でも大きな足跡を残してきたレヴィンソンだからこそ実現できること。それがダニエル・ヘルツというブランドの大きな力です。生演奏ならではの、芯のしっかりしたナチュラルな音、深みある低域とワイドなダイナミックレンジの再現。オーディオファイルは、そうした長く夢見てきた音の世界を、おそらく初めて手にすることができるのです。

レヴィンソンがオーディオの世界に入るきっかけとなったのは、スイス・オーディオ界のパイオニア、ジョルジュ・ケレーの存在でした。今なおヌーシャテル郊外に住むケレーは37年来の友人であり、ダニエル・ヘルツの工房もケレーの住まいから数キロメートルの場所に位置しています。またスピーカーは、レヴィンソン家がかつて所有していた家屋からほど近い、ペトロフ・ピアノ社の工房で製造されています。ペトロフ社とは、スピーカーの仕上げ技術など多くの職人技を共有、ペトロフのピアノでの演奏をその場でレヴィンソンが録音・再生し、生演奏と比較するなど、機器の性能や聴感を向上する上でも緊密に連携しています。

Specifications

M1 Reference Speaker System

●エンクロージャー型式	3ウェイ・3スピーカー フロント・バスレフ・フロア型
●出力音圧レベル	100dB/W/m
●最大音圧レベル	126dB (200W)
●定格インピーダンス	8Ω
●再生周波数帯域	20Hz ~ 20kHz
●クロスオーバー周波数	80Hz、1.8kHz
●入力端子	MID、HI、LOW
●寸法	幅 560× 高さ 1550× 奥行き 470mm
●重量	150kg (1本)
●価格	希望小売価格 ¥12,600,000 (税込・ペア) 本体価格 ¥12,000,000 (税別・ペア)

M5 TELIKOS Mono Reference Power Amplifier

●定格出力	200W (8Ω)、350W (4Ω)
●周波数特性	10Hz ~ 25kHz ±0.5dB
●THD	0.05%以下
●入力	アナログ RCA 1系統
●出力	アナログ RCA 可変、アナログ RCA 固定各1系統
●消費電力	最大 500W
●寸法	幅 330× 高さ 205× 奥行き 455mm (突起部分含む)
●重量	18kg
●価格	希望小売価格 ¥1,312,500 (税込・1台) 本体価格 ¥1,250,000 (税別・1台)

M6 1 Meg Ohms Preamplifier

●最大出力電圧	10V RMS
●周波数特性	10Hz ~ 25kHz ±0.5dB
●THD	0.05%以下
●消費電力	最大 10W
●入力	アナログ RCA ステレオ 3系統 デジタル USB 1系統 (Type B)
●出力	アナログ RCA ステレオ 1系統、RCA ステレオ録音出力 1系統、モノラル 1系統
●寸法	幅 330× 高さ 115× 奥行き 350mm (突起部分含む)
●重量	4kg
●価格	希望小売価格 ¥1,575,000 (税込・1台) 本体価格 ¥1,500,000 (税別・1台)

●このカタログの記載内容は2013年4月現在のものです。



Audio legend

Mark Levinson
Continues as leader
of quality audio world
since 1972.

Artisanal Workmanship

音への情熱にあふれた天才の登場

1972 年、一人の若きオーディオ・エンジニアが、繊細極まるパフォーマンスをそなえたプリアンプリファイアーとともに華々しくオーディオ界に登場します。そのアンプとは LNP-2。そしてそのエンジニアとはマーク・レヴィンソン。彼の名は、1968 年、21 歳にして「ウッドストック・ミュージック・フェスティヴァル」用ステージミキサーを製作したことで既に伝説となっていました。何より生演奏のエネルギーを再現しうる妥協なき音楽再生システムの創造を目指して彼が設立した「マーク・レヴィンソン・オーディオ・システムズ」(MLAS)、その第 1 号機が LNP-2。偉大なモデルに彩られたアメリカ・ハイファイオーディオの黄金時代の輝きがやや色褪せた 60 年代後半、従来のな再生システムの制約を乗り越え、大量生産とは対極的なものづくり体制のもとで生まれた LNP-2 は、ある種の官能美を醸し出す個性的なクオリティーゆえに一大センセーションとなり、特異な輝きを放ちました。

As a Trumpet Player

音づくりに活かされる音楽家としての感性

彼は、10 代後半から 20 代にかけてソニー・ロリンズやポール・ブレイ、キース・ジャレットなどと共演したジャズマンでもありました。またレコーディング/マスタリング・エンジニアとしても傑出した才能を持ち、伝説的なレコーディングを数々手がけました。第一級の音楽家、音づくりのプロとしての感性と知見は、当然そのオーディオ機器設計にも結実、1984 年に設立され「チェロ」では生演奏のエモーションを伝えたいという思いを新たな形で表現するとともに、レコーディングスタジオ、マスタリングルームにも数々の名機を導入しています。それはまさに演奏家と聴き手の情熱の仲立ちとして、双方の思いを取り結ぶ活動であり、彼でなければ成しえない役割だったと言えます。

Emotion in Music Reproduction

真正な音楽再生のために注がれる新たな情熱

1990 年代後半、彼は「レッドローズ・ミュージック」を設立、そのキャリアを新しい段階へと進めました。これら 3 ブランドの製品が今なお愛され、高く評価されている事実は、品質にかける彼の情熱が類い稀なものであることの証左でしょう。一方で、伝統音楽の演奏家支援活動や、危機に瀕したオペラハウスのための基金設立など音楽を通じた社会貢献にも尽力。その音楽への情熱は新しい方向へ拡大しつつあります。そして 2007 年、音の理想を美しく精度高いハードウェアに結実させてきたその歩みがオーディオの世界にまたしても新しい歴史を作りました。それが「ダニエル・ヘルツ」の設立。それは、精密機器の長い伝統が息づくスイスの古都ヌーシャテルの地で、卓越したクラフトマンシップを活かしながら新時代のレヴィンソン・サウンドを創造するプロジェクト。レヴィンソンの新しい伝説は既に始まっています。